

保護者からの手紙（第13回-1）

柿本団長、おの100関係者の皆様
前略

この度は娘がおの100に参加させていただき、
また、完歩させていただきありがとうございました。
おの100前日は、不安と緊張で食欲もなく眠れなくて泣いている娘を見ると、
半ば無理矢理参加させてしまったことを少し後悔しました。
しかし5日後班のみんなと手をつないでゴールした娘の顔は
少し日焼けした清々しい笑顔でした。
しんどかったこと辛かったことも話しましたが、優しく頼れるリーダー、
気づかってくれる友達、嬉しかったこと、頑張ったこともたくさん話してくれました。
参加前は、親の方もすごく不安でしたが、色々話しを聞いていると、
周りの方々に助けられながら自分で乗り越えられたんだとわかりました。
おの100は子離れの機会でもあると団長さんがおっしゃっていましたが、
実感しました。

おの100から帰って、娘が変わったとは思いませんが、
大きな自信と達成感を味わっているのではと思います。
また、新しい友達、リーダー、スタッフの方々との出会いが娘にとって、
すごく大切なものになっているようです。
そんな娘を見ることができて嬉しく、感動しております。

5日間、暑い中雨の降る中、子どもたちを支え励し、見守ってくださった皆様に感謝
しております。本当にありがとうございました。

草々